

まんがを活かしたコンテンツ創造教育プログラム等開発事業について

事業の目的

高知県の文化であるまんがを活かした小中学生向けの教材を作成し、各学校で実践することにより、児童生徒の「学習意欲」を喚起し、「発想力、企画力、表現力、プレゼンテーション力等」を更に伸ばすとともに、「基礎的・基本的な知識及び技能」の習得への相乗効果につなげることを目的とする。

これまでの取組

- 平成 28 年度 教材試行版の制作
国語、図画工作・美術の教材
小学校 1～3 年生向け、小学校 4～6 年生向け、中学生向けの 3 段階
- 平成 29 年度 学校での教材の試行 5 校（254 名の生徒・児童）で実施
⇒ 実施校でのアンケートによる意見や要望を受けての修正
- 平成 30 年度 学校での教材の試行 2 校（84 名の生徒・児童）で実施
⇒ 授業の実践例を作成・教材のインターネット公開に向けた準備

教材開発ワーキングチーム

コーディネーター	京都精華大学 副学長（マンガ学部教授）	吉村 和真
メンバー	崇城大学芸術学部デザイン学科 准教授	小川 剛
	比治山大学短期大学部美術科マンガ・キャラクターコース講師	久保 直子
	上分中学校 教諭(まんが教室講師代表)	橋村 政海
	高知県教育委員会事務局小中学校課 課長補佐	
	高知市教育委員会事務局学校教育課 指導主事	
	まんが王国土佐推進課長	

教材制作・公開にあたってのご協力

【漫画家】

おかもとあつし先生、黒江S介先生、古味直志先生、Moo.念平先生、村岡マサヒロ先生、

【企業・団体】

高知新聞社、高知ファイティングドッグス、高知ユナイテッドSC、集英社、濱惣、横山隆一記念まんが館、横山隆一先生ご親族、リブレ